

あなたの「やってみたい」を応援します!!

ゆめこらぼ通信



第11号

発行

平成23年2月1日
(隔月発行)

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション（協働）によって夢を広げ、夢があふれる空間をめざします

発行：西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ 〒188-0012 東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル1階

「まずひとと関わろう」

NPO・市民活動ネットワーク
嶋田さんと考えた



「地域に根づくネットワークづくりとは」をテーマにNPO・市民活動ネットワークの会合が1月26日(水) イングビルで開かれました。東伏見コミュニティセンターを運営するNPO法人西東京コミュニティひろばNC

Hの事務局長、嶋田安民さんがゲストで、16人が参加しました。

嶋田さんは、ネットワークをつくるには人との関わりが大事なことを強調し、思いを伝えるには言葉だけでなく、しぐさや表情、雰囲気づくり、話を「聴く」姿勢が大きな役割を持つと話しました。また、団体がそれぞれの専門分野で活動していると「オタクになりやすい」と指摘し、一つの新しい行動に踏み切ることによって他分野の人とのつながりができたり、行政との協働に発展したりした体験事例を紹介しました。

参加者からは「欲しい情報を得るにはいつもアンテナを立て、それが人から見えるようにする工夫も必要」「NPO市民フェスティバルのようにNPOや市民団体が一堂に会する機会を多く作ってほしい」などの声が出ていました。

冤罪、なぜ生まれる

元記者囲みトークサロン

1月のゆめこらぼトークサロンは14日(金)

ジャーナリストの山口正紀さん=写真左=を囲み、「報道から見た冤罪(えんざい)・再審事件」を話題に開かれました。

山口さんは全国紙の新聞記者を30年間勤め、現在は「人権と報道・連絡会」世話人などとして活動しています。栃木県で女兒が遺体で見つかった事件で逮捕され、17年余り刑務所に収監されていた男性が昨年、再審で無罪が確定した足利事件などを例に、冤罪を生み出す背景や問題点、逮捕時の新聞報道の内容・表現に対する疑問を率直に語ってくれました。

参加した12人は熱心に聞き入り、人権や取り調べの可視化問題などについて突っ込んだ意見交換も。昨今、無罪判決が目立つのはなぜかという質問に、山口さんは「当事者の頑張り」と支援者の努力が大きい。裁判員制度が始まり裁判官の意識に微妙に影響を与えていることも考えられる」と答えていました。



主な記事

- ホームページを3月立ち上げ
- NPO市民フェスティバルは2月20日
- 2・3月の主催イベント ... 2面
- 行政職員と市民活動団体が懇談
- 「女性の聞き書き集」発刊祝う
- 助成金情報 ... 3面
- 登録団体が50に ... 4面

ホームページ 3月開設

登録団体の情報発信力も強化

ゆめこらぼは、3月中の開設を目前にホームページの作成を進めています。ゆめこらぼからの情報発信だけでなく、登録団体のみなさまにも活用していただけます。

登録団体のお知らせやイベント情報などは、簡単な入力作業を行っていただくことで発信できます。登録されたイベントは、「イベントカレンダー」に収まり、その日のすべての催しが一覧できるかたちの中で表示されます。また、閲覧する人は、ゆめこらぼに登録されている団体が公開する活動内容や連絡先などの詳細を知ることでもできるようになります。

このほか、新たに「人材バンク」のメニューを設け、市民活動団体などが求める人材の情報を提供する予定です。市の「地域活動情報ステーション」と併せてご利用ください。



トップページのイメージ図

体感して 市民活動団体のエネルギー 2月20日、NPO市民フェスティバル

西東京市の地域のことから世界のことまで、さまざまな活動をしている NPO・市民団体や企業が一堂に集まります。2月20日の日曜日に午前10時から、南町5丁目のスポーツ・文化交流センターきらっとで開く「2011 NPO市民フェスティバル」で、そのエネルギーを肌で感じてみませんか。入場は無料です。

フェスティバルは昨年からはまり、今年は7団体多い36団体が参加します。すべての団体が自分たちの活動の様子を収めた写真などをパネルに展示するほか、18団体がプロジェクターを使ったり実演を交えたりしてステージで発表します。

今年のサブタイトルは「相・逢 ささえあいめぐりあい」。市民と団体の、また団体同士の出会いや交流が生まれるよう、実行委員会とゆめこらぼが準備を進めています。

活動内容をアピールする各団体のチラシ。冊子にまとめ、当日会場で配布します



< 2、3月のイベント予定 >

詳細は毎月1日・15日発行の広報西東京(市報)をご覧ください。

協働を考えるシンポジウム

NPO や市民活動団体と行政や企業が力を持ち寄り、地域の課題を解決する手法である「協働」について、基調講演とパネルディスカッションを通して考えます。(2月7日まで受け付け、先着50人) 2月9日(水)午後2時~4時30分、市役所保谷庁舎4階研修室

アドボカシー講座

市民活動の実践による身近な政策提言について、横浜のNPO法人の理事から話を聞きます。(2月15日から受け付ける予定、先着30人) 3月5日(土)午後2時~4時、イングビル3階会議室

トークサロン

『西東京市の女性の聞き書き集』を発刊したNPO法人生活企画ジェフリー理事長の渡辺美恵さんから編さんのこぼれ話を聞き、仲間づくりの楽しさなどを語り合しましょう=3面に関連記事。(3月1日から受け付ける予定、先着10人) 3月10日(木)午後6時~7時30分、ゆめこらぼサロンコーナー

名刺交換会

NPO・市民活動ネットワークの拡大版です。市民活動団体やNPO法人、企業、大学などで地域を良くしたいと活動したり、そのようなことに関心を持ったりしている人たちの新しい出会いやコラボのきっかけとなりますように。(3月1日から受け付ける予定) 3月12日(土)午後2時~3時30分、コールド無イベントルーム

「協働、さらに推進を」

市民と行政、初の懇談会

行政と市民活動団体との協働をさらに推進していくため、行政職員と市民活動団体の初の懇談会が1月26日(水)、市役所保谷庁舎で開催されました。参加したのは市民活動団体から15団体の15人、行政側は協働コミュニティ課ほか3課から5人の計20人。

あいさつや自己紹介のあとのフリートークでは、まず協働実績のある市民活動団体から、NPO等企画提案事業などの事例紹介や今後の課題などが話され、行政側からは率直な意見や感想が出されました。続いて、協働の一層の推進というテーマで活発な意見交換があり、参加者からは「今後も懇談会の開催を」などの声が寄せられました。

NPO・市の協働で「聞き書き集」

関係者が発刊祝う



70代から90代まで、歴史の生き証人へのインタビューなどを収めた「西東京市の女性の聞き書き集2010」の発刊記念パーティーは1月16日(日)、発行したNPO法人の主催で市役所田無庁舎食堂で開催されました。

聞き書き集は、社会の男女共同参画を進めようと活動するNPO法人生活企画ジェフリー(渡辺美恵理事長)が企画。女性史編さん講座を開き、修了した市民12人で編さんする会をつくって昨年夏から旧田無市議会議長ら高齢の女性22人に生い立ちや折々の暮らしぶりなどを聞きました。A4判、122ページで500部作製。NPO法人による企画に行政が補助金などで応える「協働」で作製されたこの種の冊子は全国でも珍しいそうです。

パーティーには話し手や講座の先生、監修者、市の担当者たち約40人が出席。渡辺さんは「課題が生じて最後はみんなが納得する方法を見つけて発刊にこぎつけられました」とあいさつ＝

写真右から2人目。市生活文化スポーツ部の宮寺勝美部長は「自分の親世代の生き方がナマの言葉で書かれており感動しました」などと祝辞を述べました。

助成金情報

(詳しくは各助成団体のホームページをご覧ください)

社団法人全日本冠婚葬祭互助協会社会貢献基金【対象】非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、市民ボランティアグループなど)または大学、研究機関で、婚礼、葬儀など儀式文化の調査研究 高齢者福祉事業 障害者福祉事業 児童福祉事業 環境・文化財保全事業 国際協力・交流事業【助成金額】総額約1000万円。1件当たり上限200万円(研究助成事業は上限100万円)【応募期限】2月28日【問い合わせ先】全互協社会貢献基金運営事務局(03・3596・0061)

第3回日本都市計画家協会・楠本洋二賞【対象】都市計画コンサルタント、民間企業・団体・行政府・自治体で活動する個人、大学・研究機関等の研究教育従事者、NPO所属者などで、都市計画・まちづくりに関連する分野の実践や研究【表彰と副賞】最優秀賞1人＝賞状と30万円、優秀賞1人＝賞状と15万円、奨励賞1人＝賞状と10万円【応募期限】2月28日【問い合わせ先】日本都市計画家協会事務局(03・5401・3359、ファクス03・5401・3389)

URCAまちづくり企画支援事業【対象】NPO、協議会、組合、任意の団体などで法人格の有無は問わず、常時活動対象としている地区の活性化を目的に実施する事業【支援金額】総額100万円。複数の事業が選定された場合は合わせて100万円まで【応募期限】2月28日【問い合わせ先】社団法人再開発コーディネーター協会 URCAまちづくり企画支援事業事務局(03・3437・0261、ファクス03・3432・8908)

ドコモ市民活動団体への助成募集【対象】「子どもを守る」活動に携わるNPO法人などで、不登校・ひきこもりの子どもや保護者に対する精神的・物理的な支援、復学・社会的自立支援活動 児童虐待やドメスティック・バイオレンス(DV)、性暴力などの被害児童・生徒を保護・支援する活動 非行や地域犯罪などから子どもを守るための支援活動 子どもの居場所づくり 軽度発達障がいのある児童の支援活動 など【助成金額】1団体当たり標準額は50万円(申請上限200万円) 総額2500万円【応募期限】3月31日【問い合わせ先】NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(ドコモMCF、03・3509・7651、ファクス03・3509・7655、メールinfo@mcfund.or.jp)

ゆめこらぼは、2009年春の開設以来、市民活動団体のみなさまに当施設をより便利に使っていただけるよう、団体登録をお勧めしてきましたが、今年1月をもちまして50団体に達しました。

登録団体は活動分野別では「環境」が12団体と最も多く、次いで「まちづくり」9団体、「福祉」「子ども」「健康」が各5などの順となっています。団体の種類別では「NPO法人」が18と最も多くなっています。

ゆめこらぼでは引き続き、登録をお待ちしています。センターへの団体登録はとっても簡単。これから活動を始めようという方には、会則の見本などをお見せして、団体立ち上げの支援をします。登録団体同士の情報交換・ネットワーキングのお手伝いもします。

登録のメリット メールボックスが使えます(無料、郵便物の受取先とすることができます) サロンコーナーと印刷機の利用予約ができます

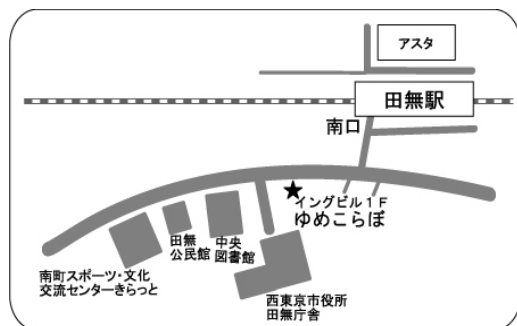
資格 市内で市民活動をしている団体、またはこれから始めたい団体(構成員2人以上)。事務局が市内にあるか、主な活動場所が市内にある団体
必要なもの 団体規約または会則

申請書 ゆめこらぼにある所定の用紙に代表者の名前、住所、活動内容などを記入していただきます

～新たな登録団体～

(2010年12月～2011年1月)

西東京 風の会(西東京市の社会問題解決) NPO法人たま市民葬コラボ(葬送様式に関する知識・情報の提供や葬送実行の支援を行い、当事者の精神的満足、経済的負担の軽減を図ることにより市民の福祉に寄与する) 西東京シネマ倶楽部(映画上映、市民名画座、市民映画祭の開催) NPO法人西東京コミュニティひろばNCH(あらゆる活動の原点は地域のコミュニティの充実にあるとの認識に立ち、市民の立場から西東京市の基本理念である「やさしさとふれあいのまち」づくりの実現を目指す)



みんなの本棚 無縁社会



NHK「無縁社会プロジェクト」

取材班<編著>
文芸春秋・1400円



本書のサブタイトル「“無縁死”、三万二千人の衝撃」が示すように、ひとり孤独に亡くなり引き取り手もない「無縁死」は、年間約3万2000人にも及ぶ。これは、年間の自殺者数にも匹敵する規模である。

昨年は100歳以上の所在不明の高齢者が大勢いることが判明し、マスコミをにぎわせた。家族がいるのに所在不明になる高齢者である。親の死後も年金を不正受給するケースも多いようだ。

無縁死のなかには、名前も分からない身元不明の遺体も年千人近くにのぼっている。遺体は自治体で火葬・埋葬されて、所持品は数年間保管するのである。このような死者は、行政の言葉では、「行旅死亡人」といわれ、官報で人生の最期をわずか数行の記事にまとめられる。

これまでの血縁、地縁が崩壊していくなかで、さびしい「ひとりぼっち」が急増している日本社会。無縁社会は、もはや他人事ではない。これからの新しい「縁」づくりに、NPOや市民社会は対応できるのか。評者は、その真価が問われているような思いで、読み終えた。(西口 徹)

《スタッフから》

...家から保谷駅に向かう途中にあった見事な桜の大木が去年切り倒され、駐車場になりました。古木のためなのか、車の通行のじゃまになるためなのか不明ですが、満開の花と桜吹雪を楽しむことはもうできなくなってしまいました。西東京自然を見つめる会の「西東京市の木50選」選定事業に期待しています。ただ今、投票候補の木を探し中です。(加藤)

...インターネットで買い物をすることが当たり前になりましたが、お金優先か時間優先か考えます。安い高いもさることながら、買い物に行く時間があれば違うことができるのにと、宅配送料を支払っても明日には届くとか。ネット購入やカタログ購入もよいが、その後情報メールやカタログ配達されるのは考えもの!?(金子)

開館日:水～月(10時～21時)土・日・祝日オープン

休館日:火曜日(祝日の場合は開館し次の平日に休館)・年末年始
〒188-0012 西東京市南町5-6-18 インゲビル1階

西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ

Tel: 042-497-6950 FAX: 042-497-6951

E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp

URL: <http://nishitokyo.genki365.net/>

